

活動報告

日付：2023年 7月25日

活動：チェンライ県プ-チーフアー地域のコーヒーの有機農業栽培農家を視察と調査

調査結果と推奨事項の概要

調査結果

1. 訪問したコーヒー生産者団体は、志を同じくする少数のコーヒー農家で2013年に活動を開始しました。2018年に農業協同組合省の農業協同組合法に基づく協同組合として正式に登録されました。
2. 海拔1000～1300メートルの丘陵地帯のさまざまな標高にある20近くの小さな村落に点在する合計83戸の農家が会員となっています。
3. このグループはモン族(40%)、ミアン族(20%)、中国人族(10%)、アカ族(10%)などのさまざまな部族の混合であり、異なる村落に住んでいます。
4. このグループ(83軒の農家)は年間約60,000～80,000kgのパチメントコーヒー豆を生産しており、そのうちオーガニック認証コーヒー豆は6～8%(約5,000kg)を占めています。
5. 83人の農家全員が、PGSの主導のもと、ラチャバット大学とメーファールアン大学の支援を受けて、オーガニックコーヒー生産の研修を受けました。研修は3回(各回2日間)実施されました。現在までに2軒の農家が試験に合格し、PGS有機コーヒー生産者の証明書を取得しました。残りの10軒の農家はまだ試験に合格していませんが、有機農家証明書の取得に向けて努力を続けています。残りの71農家(グループメンバー83軒中)は、化学肥料なしでは生産性が低いこと、化学農薬なしでは植物の害虫を防除することが難しいことなどのさまざまな理由により、有機コーヒー生産者になることに十分な関心を持っていないことが注目された。
6. グループの農家は、カティモール(約50%)、ティピカ、カトゥラ、バーボン、および少量のゲシャを含む品種のアラビカ種コーヒー豆からコーヒー豆を生産しています。私自身の判断によると、コーヒーの味はかなり良く、市場価値も十分にあると思いました。
7. アラビカ種生豆(ウォッシュプロセス)の生産者価格は1kgあたり320～350バーツ程度で、他の場所の他の農家よりもわずかに高いようです。
8. グループのリーダーは、現在直面している主な困難には次のようなものがあると述べた。
a) 植物病害の管理、b) コーヒー豆の販売(多くの農家はコーヒーの販売を仲介業者に頼らなければならない)、c) 気候変動や異常気象による悪影響、d) 他の農業活動との作業の競合。
米とトウモロコシの生産。
9. このグループはセントラルグループと良好な関係を築いており、そのおかげで丘陵地帯の下部(緯度約600メートル)にグループオフィス(コーヒー抽出設備を含む)を建設し、グループに有機栽培を奨励したことが注目された。コーヒー。

推奨事項

1. このグループは自らをプチドゥアン有機コーヒー生産者コミュニティ企業と呼んでいます。グループ農家83軒のうち有機コーヒーを生産している農家は2軒だけです。たとえさらに10軒の農家が有機コーヒー生産者として追加されたとしても、依然として71軒のグループ農家が非有機農家として残ることになります。「オーガニックコーヒー生産者団体」という名称は実態と合わず、マイナスイメージを与えてしまうかもしれません。

一方、非有機コーヒー生産物は、最小限の量の化学肥料と化学農薬を使用し、コーヒー製品についてGAP認証を取得することが奨励されています。「オーガニックコーヒーとGAPコーヒー生産者の団体」として認知されるように。あるいは、グループが組織再編を希望し、有機審査に合格した、または将来有機コーヒー生産者になりたいと考えている有機コーヒー農家のみをグループのメンバーとして認めることも考えられます。

2. 植物の害虫に関連する問題は深刻であるようです。植物から生産される生物農薬にはさまざまな種類があります。同グループは生物農薬の生産と使用に関するさまざまな選択肢をテストする必要があります。

3. グループ農家が栽培するコーヒーの木の品種のほぼ半数は、アラビアとロブスタの交配種であるカティモール種です。カティモールは収量が多いのに優れていますが、コーヒー豆の味は決して高品質ではありません。カティモールの割合を徐々に減らし、ゲシヤ、ティピカ、カチュラ、バーボンなどの高品質品種に置き換えることをお勧めします。

4. 現在、グループ農家は、独自のロゴと商標を付けて、独自のコーヒー豆を個別に販売しています。これでは、近い将来、グループ共同の取り組みを促進することはできません。グループが生産する有機コーヒー豆について、共通の商標および共通のロゴを作成することを提案します。

5. GIAPSAは、残り10名の農家が有機検査に合格し、グループ内に少なくとも12名以上の有機コーヒー生産者が存在するようになれば、さらなる議論を条件としてグループを支援することを検討する予定です。GIAPSAの支援は、グループ活動の強化、新しいコーヒー品種の植え付け、グループでのコーヒー加工、グループでの市場販売などを考慮したいと思います。

